

恵那市こども計画策定にかかる ALLえなネウボラ会議プログラム

1 会議の日程

■日程

日程	場所
7月11日（木）10：00～12：00	恵那市役所 会議棟 大会議室

2 会議の目的

こども計画策定にあたり、恵那市におけるこども・若者に関する課題の洗い出しを行うことを目的とする。こども・若者と接点のある活動者が実際に感じている現状の課題を把握することで、こども計画における施策の検討材料とし、さらに施策につながる現状・課題として計画に反映する。

3 進行

■スケジュール

配分	プログラム
10：00～10：05	★開会あいさつ
10：05～10：10	★会議の趣旨とこども計画策定についての全体説明
10：10～10：20	★アンケート調査結果の共有
10：20～10：30	★本日のワークの進め方について説明
10：30～10：50 STEP 1 (約 20 分)	★アイスブレイク（グループ内で自己紹介）（5分） ★STEP 1：個人ワーク（約 15 分） ○部会ごとに振り分けたテーマに沿って、会議参加者の方が普段の生活や活動の中で感じている課題を付箋に記入してもらいます。 ※1つの意見につき付箋1枚です。 ※テーマごとにまんべんなく意見が出るよう、声掛けをお願いします。
10：50～11：20 STEP 2 (約 30 分)	★STEP 2：グループ内で発表（約 30 分） ○付箋に記入してもらった内容について、一人ずつ紹介してもらいます。 ※参加者が付箋の内容を説明しながら、模造紙の該当のテーマの枠内に付箋を貼っていきます。一人が書いた付箋を一度ですべて説明してもらってください。状況に応じて、テーマごとに発表を行っても結構です。 ※後ほどグループ分けをするため、可能であれば似ている意見は近くに貼る誘導をお願いします。

配分	プログラム
11 : 20～11 : 30 STEP 3 (約 10 分)	★STEP 3 : グループワーク 1 (約 10 分) ○STEP 2 で出た意見をもとにグループ内で意見交換を行い、さらに意見がある場合は、追加で付箋に記入し、内容共有を行います。 ※ 今回の話し合いの内容は、模造紙上の文字でしか残りません。共有の中で新しく思いついた課題は、必ず付箋で書き残していただくよう、指示をお願いします。
11 : 30～11 : 40 STEP 4 (約 10 分)	★STEP 4 : グループワーク 2 (約 10 分) ○カラーペンで似た内容の付箋を囲い、簡単なタイトルを付け、ワークで出た課題をカテゴリ分けします。
11 : 40～11 : 50	★部会ごとにワークでの内容を発表 (各 2 分程度)
11 : 50～12 : 00	★まとめ、閉会あいさつ

■テーマの振り分け

部会	割り当てられるテーマ
就学前サービス部会	①「子ども・子育て・教育にかかる支援の充実」について ③「こども・若者等の命と健康を守る支援の充実」について ⑥「こどもまんなか社会にむけた環境整備」について
小中高サービス部会	①「子ども・子育て・教育にかかる支援の充実」について ⑤「こどもが安全にすごせる環境づくり」について ⑥「こどもまんなか社会にむけた環境整備」について
発達部会	②「特に支援を必要とするこども・若者への支援」について ③「こども・若者等の命と健康を守る支援の充実」について ⑥「こどもまんなか社会にむけた環境整備」について
セーフティネット部会	②「特に支援を必要とするこども・若者への支援」について ④「こども・若者の将来を支える社会づくり」について ⑥「こどもまんなか社会にむけた環境整備」について

ALLえなネウボラ会議【就学前サービス部会】

課題	具体的な内容	備考
①「子ども・子育て・教育にかかる支援の充実」について		
預かり(子ども園)	子ども園の幼児コースの降園のお迎え時間を2時ではなく3時にしてほしい	
	子ども園や保育園の3時のおやつは手作りを増やしてほしい	
	子ども園の白いごはん持参をやめて園で炊いてほしい	
	日常は短時間で働き、子どものお迎えに間に合わせている。学校休みの期間に学童以外の預かりがほしい	
	就園前までの一時預かりの確保(産前産後)	
	3歳未満児の入園が希望できる園に入れるように	
	年度途中での入園希望者が希望する園に入園できないことも。保育士不足、定員のため	
保育士	育休中の3歳以上児は1年間幼保コースで預かってほしい。また、未満児も預かってもらいたい	
	短時間労働のため幼児コースで預けているが、幼保コースにしてほしい。	
	保育の仕事を目指す若者が減っている。実習希望者の減少	
子育てサービス	幼児の定員を減らしてほしい。0歳→2:1、1歳→4:1、2歳→5:1、3歳→10:1	
	ファミリーサポート援助会員不足。700円→1,000円に	
	サービス提供者の不足。夕方から夜の支援	
	保護者ニーズに添うことと行政として伝えたいことの差が大きい(参加者が集められない)	
	経済的支援以外の保護者への支援策は?	
	20年前と比べて社会格差が大きく広がり、経済的弱者にファミリーサポートが行き届きにくい(無料にしても行政コストはほとんど上がらない)	
	子育てする親の立場に立ったサービス(ニーズに合った)	
外国籍	食育・子育て論すべてを伝える側の情報の更新	
	外国籍の方への対応	
	外国籍の子どもの支援	
企業 経済	外国籍の親同士の交流が難しい	
	「働かせすぎない」企業側の配慮	
経済	不登校、フリースクールに行く子(世帯)への経済的支援	
③「子ども・若者等の命と健康を守る支援の充実」について		
性教育	中学生と妊婦の交流(性教育)	
	若者・未婚での妊娠増の対策を	
	貧困層を減らす	
医療	小児専門医が少数	
	アレルギー対応の意思確保をしてほしい	
	児童精神科医がいない	
その他	現在行っているフードパントリー事業の利用者は86%がひとり親世帯。氷山の一角か?(笠岡・恵南をどうするか)	
⑥「子どもまんなか社会にむけた環境整備」について		
ソフト面・メンタル	若者に希望を	
	諸外国と比べて低い	
	幼児～18歳にいつ何をするか考えて	
	失敗のゆるされる社会・環境を。(学校に登校しない選択肢もあり)	
	多様な価値を認め合う社会	
	社会変動が大きな社会では試行錯誤をゆるす必要あり。現在の閉塞状況が大問題	
	(2019年日本総研の世界数か国の18歳に対する意識調査結果参照)若者に希望がなさすぎ!	
経済的支援	小中学校の給食費無償	
情報	子どもの時から大人まで切れ目のない情報発信	
	マイカなどお得情報として発信	
学ぶ環境	子どもは基本地元で育つことができるよう努力をしてほしい(小・中・高)	
計画	地域の学校。自分の足で登校できるエリアに学校を残す	
	ターゲットをしっかりとわけて施策を	
遊び場所	データ分析。ひとり親・両親(貧困)	
	小さい公園はあるが遊具が全くない。幼児～学童の使える遊具の設置を	
	屋内で遊べる場所	
	恵那市主催で子ども用のイベントを増やしてほしい(キッズスペースも)	
その他	子どもの意見(気持ち)を尊重した居場所、託児場所	
	通学路付近の街灯の数を増やしてほしい	

ALLえなネウボラ会議【小中高サービス部会】

課題	具体的な内容	備考
①「子ども・子育て・教育にかかる支援の充実」について		
保護者への教育	親への教育、コミュの場の充実	子どもの預かり条件の拡大！？
	親への教育、何が大切か・必要か	子どもに直接届く支援を充実させたい
	親になるための覚悟を中高生に対して生む・育てる、プロの人材を	←意識改革も必要。そのためには？
その他	見守りボランティアの高齢化	↑「長期休みのみ預かれる」教室の開設？
	スポーツ。子どもが減っているのでスポーツ少年団を維持できなくなってしまう	
	保護者同士、保護者と地域の方をつなぐ	
	ファミリーサポート中学生	
	活動にかかる費用	
	ひとり親、貧困	
⑤「こどもが安全にすごせる環境づくり」について		
場所	学童利用増加→施設不足→危険 子どもは減っているが、学童は増加傾向。場所の確保が必要 学童の利用時間も長くなっている。保護者の時間も大切？	
地域	地域活動、地域参加。楽しい、シルバー活用	
保護者の負担	学校内での学童ではない所がある。行くまで危険がある	
	親の仕事、働き方、条件。過ごす時間・ゆとり増	
	登下校時の安全。学童→習い事→学童(不審者)	
ICT	放課後子ども教室、保護者の協力 ネットによる被害防止教育	
支援の必要な子ども	多様な考えの保護者・子ども、ゆとり 発達障害、協働	
その他	支援が必要な子の利用増加。学校との連携	
	責任のなすりあい、親の自覚 現状理解。ダメではなくより良い方法を	
⑥「子どもまんなか社会にむけた環境整備」について		
子どもファースト	高校生が学習できる場	
	子どもにとって居心地が良いとは？安全重視	
	子どもにとって必要な居場所。子どもの想いを	
	子どもが来て相談できる場所がない	
人材育成	高学年児童(中・高・大生)の参画。機会、時間	
	居場所。ハードだけでなくソフト面の充実	
	支援員不足	
	学童支援員の不足と高齢化	
その他	コーディネーターの育成	
	保護者の送迎。働き方、時間、他の活動と	どう減らす！？
	子ども園等に行っていない子の居場所が少ない。元気プラザの拡大	楽しいことを企画しないと参加しない！？

ALLえなネウボラ会議【発達部会】

課題	具体的な内容	備考
②「特に支援を必要とする子ども・若者への支援」について		
支援の拡充と啓発	不登校児童生徒の増加	
	不登校。保護者と教育者の考え方の違い	
	特別支援を要する子どもの増加	
	発達に関する相談が増加しているが対応しきれない	
	支援を必要としている子どもの増加。園・学校の受け入れ	
	進路選択と学習支援	
	障がい認識のための保護者支援(理解啓発)。適正な就学先選択のために 高校卒業後の不安解消の手だて	
③「子ども・若者等の命と健康を守る支援の充実」について		
専門機関との連携と 充実	子ども園へ養護教諭を配置	
	心理士の不足	
	子ども園へ心理士を定期的に勤務	
	恵那市の正職員として心理士を配置(子育て支援課)	
	医療と保育の連携	
相談体制	遠方の医療機関への受診が必要	
	命の授業。園→小学校、内容の整備	
	母親支援。心理的な安定	
	心の健康について、安心して相談できる場	
	悩み事の相談先。どこへ相談したらいいか	
⑥「子どもまんなか社会にむけた環境整備」について		
子どもの居場所	休日・学校長期休暇中の安心・安全な居場所	
	居場所づくり、子どもの考えを実現できる活動ができる場づくり	
	図書館の充実。誰もが気兼ねなく利用できるフリースペースのある図書館	
	子どもの居場所(安心して過ごせる場所)。放課後、学童や放デイに行っていない子の居場所の充実	
	学校以外の居場所を気軽に利用できるとよい	
	下校後の居場所	
	フリースクールの設置	
その他	子どもが発信し主体的に取り組める場、コミュニティー	
	恵那市にSSWを常勤	
	様々な学校同士の交流	

ALLえなネウボラ会議【セーフティネット部会】

課題	具体的な内容	備考
②「特に支援を必要とする子ども・若者への支援」について		
マンパワー	学校での相談員、常勤のSW 学童保育の先生が足りない 学校の人での不足。本当に大変そう	
ひとり親支援	自分が病気した時に子どもを誰に預けたら良いか不安(ひとり親) 入院時の金銭面が不安(ひとり親) 年齢が上がるほどに金がかかるのに子ども手当が減る(ひとり親) 事情があって養育費がもらえない(ひとり親) 食費・日用品は節約しているが、子どもの娯楽品や本が買えず我慢させている(ひとり親)	
親支援	親の理解(意識)が低い、ヤングケアラー、貧困 当事者の親(家族)が課題をもっている 親に障がいのある子どもがいる、環境がせまい 埋もれている子、親の困り感のない家庭をつなぐ	
外国籍の子ども	外国籍の子どもの学習支援(言葉)、生活支援 フードパントリー配布、食事支援の場所の増	
不登校	はなの木・むつみに来れない子の居場所 不登校・ひきこもりのつながりをつくっていく、方法はSNSを含む 不登校児への支援、ひきこもり含む	
子どもの意見	当事者の声を具体的にヒアリングする場がない こどもの言葉がみえてこない 引きこもりや障害をおもちの方は居場所へは来るが、次のステップに出ていけない 困った相談には来るが、制度がなく、親にバイアスをかけると連絡がとれなくなる 貧困ってどこから？定義・収入 子どもが貧困ではないが、親が高齢者になってしまい収入がない。また、ギャンブルをしてしまう	
④「子ども・若者の将来を支える社会づくり」について		
恵那の企業や体験	恵那市の企業紹介。日本一や世界一、知らないことも多いのでは？ 視野を広げる→恵那出身の人、恵那で活動している人 体験→情報	
教育・経済的支援	子どもが入院した時の収入の減少、勉強の遅れ(ひとり親) 仕事はしていたが給料が低く、親からお金を借りた(ひとり親) 大学・専門学校の教育資金が負担(ひとり親) 習い事に補助金があればうれしい(ひとり親)	
夢と希望	結婚したい、家庭をもちたいと思える環境づくり 夢のない希望のない当事者が多いこと 本人の夢は「カカオ農園」の栽培をしたいが、就労経験が少なくお金がない借入れできない	
メンタル支援	少しのことで心が折れてしまい、就学・就労に進めない 就学や就労支援を行っても親の意見に振り回されてしまう	
⑥「こどもまんなか社会にむけた環境整備」について		
移動支援	塾に行けない 友達の家遊びに行けない 子どもが集まる場へ自由に行けない 子どもの移動支援 子どもがいない、旧恵那はいいが恵南等の人(移動が大きい)、くま、車(親が就労している、保障問題) 遠くに子どもを連れていけない(ひとり親)	
居場所	多世代交流ができていない→作っていく。「しつけ」「声かけ」「一緒にいる時間が少ない」 各地域に子どもの居場所設置 各地域に居場所が少ない→子どもの居場所なので時間帯や休日の対応が難しい 居場所。同じ思いの人たち、ひとつではなくいろんなところ 仮想空間、アバター「孤独にならない策」 居場所は1つではない。SNS含む	
情報発信	相談のしかた。SNS含む 学校の情報が入りにくい 居場所、相談、そういう情報が分かりやすく、SNSなど	

子ども意見	意見を発信できる場をつくる	
	当事者の声を具体的にヒアリングする場がない	
	行政や企業、全てのセクターが法を認識する	
子ども基本法	こどもまんなかとは何のことか	
	子どもの権利を子どもに知らせたい	
その他	今の子どもは色々みえる、「時間をかけて理解していく」交流の場	
	高齢者サロン等での子ども交流や親との交流会	
	子育て世代への支援。子どもが多いほど生活が大変。おかしくない？	

“ALLえな” ネットワーク会議参加者一覧表

区分	No.	関係機関名	出欠	主な役割
① 就学前サービス部会	1	子育て支援課		こども元気プラザ、子育て支援センター、児童センター
	2	子育て支援課		母子保健
	3	幼児教育課		こども園
	4	社会教育課		乳幼児学級
	5	NPO法人 みんなで子育てドロップス		ファミリーサポートセンター
	6	しぶろく大井宿		子育てサロンお〜いカフェ
	7	長島Ciaoカフェ	欠席	子育てサロン
	8	おなかま(飯地)	欠席	地域の預かり事業
	9	社会福祉協議会岩村支所	欠席	親子遊びの場
② 小中高サービス部会	10	子育て支援課		放課後児童クラブ
	11	社会教育課		放課後子ども教室、コミュニティセンター
	12	学校教育課	欠席	小中学校
	13	学校教育課		はなのき教室
	14	中央図書館	欠席	セミナールーム開放
	15	大井学童保育所		放課後児童クラブ
	16	社会福祉協議会	欠席	児童センター
	17	子育て支援課		家庭児童相談員
③ 発達部会	18	子育て支援課		障がい児支援
	19	幼児教育課		こども園
	20	学校教育課		教育・発達相談センターあおば
	21	恵那特別支援学校		地域支援センター長
	22	こども発達支援センター		こども発達支援センター
	23	NPO法人 くわのみ	欠席	障がい児日中一時支援事業(りんごクラブ)
	24	子育て支援課		計画策定
④ セーフティネット部会	25	子育て支援課		ひとり親支援
	26	社会福祉課		貧困対策
	27	母子寡婦福祉会		ひとり親支援
	28	ともだち食堂 え〜な		食事支援
	29	社会福祉協議会		ぷらっと、セカンドハーベスト、生活福祉資金等
	30	NPO法人 みんなで子育てドロップス		学習支援
	31	白鳩学園		児童福祉施設
	32	にじいろパレット		不登校の子ども、ひきこもりの若者の居場所
	33	子育て支援課		こども家庭センター
アドバイザー	34	(株) ジャパンインターナショナル総合研究所		計画策定委託事業者
	35	(株) ジャパンインターナショナル総合研究所		計画策定委託事業者